

事業 158	事業名 事務事業名	埋蔵文化財調査費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	59 8093	
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費
	実施計画掲載	無		個別計画			目	埋蔵文化財調査費
根拠法令・要綱等		文化財保護法第92～108条、文化財保存事業費関係補助金交付要綱						

事業目的	対象	誰を・何を	開発事業者(個人含む) 全市民				
	意図	どのような状態に	開発事業に対して調整し、埋蔵文化財保護措置を講じる 出土遺物の活用を推進する				
事業内容	手段	どのような方法で	各種調査の実施 ・埋蔵文化財包蔵地の確認 ・分布調査 ・工事立会 ・試掘調査 ・本発掘調査 出土遺物の再整理及び活用資料の作成と出土品展示				

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	整備内容						

その他	特記事項等	国宝重要文化財等保存整備費補助金(国・県補助金)で実施 市内遺跡発掘調査等事業(開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図る各種調査) 市内埋蔵文化財史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業(出土遺物の活用)					
-----	-------	---	--	--	--	--	--

事業	158	事務事業名	埋蔵文化財調査費	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	----------	-----	----------

指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込	
			目標・見込	実績	達成率		
成果指標	利用者数 設定できる場合 (開発事業と埋蔵文化財保護の調整人数)	人	218	218	241	110.6	241
	出土品展示見学	人	1,592	1,250	1,206	96.5	350
活動指標	埋蔵文化財包蔵地照会への回答数及び 文化財保護法第93条等の受理、進達件数	件	190	190	205	107.9	205
	各種調査の実施件数 (分布、工事立会、試掘、本発掘)	件	28	28	36	128.6	48
	展示品入れ替え及び関連資料作成	件	2	2	2	100.0	2

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	10,574 千円	7,955 千円	24.8	11,388 千円
	正規職員人件費相当額	13,938 千円	11,696 千円	16.1	10,744 千円
	退職手当引当金相当額	2,020 千円	1,634 千円	19.1	1,501 千円
	事業コスト計	26,532 千円	21,285 千円	19.8	23,633 千円
	財源内訳	6,615 千円	4,905 千円	25.9	7,650 千円
その他	千円	千円		千円	
一般財源	19,917 千円	16,380 千円	17.8	15,983 千円	
当該事務 従事職員数	正規職員	2.02 人	1.72 人	14.9	1.58 人
	臨時職員	4.00 人	4.00 人	0.0	3.33 人
利用者1人当たりコスト	121.71 千円	88.32 千円	27.4		
うち一般財源ベース分	91.36 千円	67.97 千円	25.6		

評価項目	点数	説明
必要性	4	文化財保護法により周知の埋蔵文化財包蔵地等での開発事業に対して埋蔵文化財保護の取り扱いが定められている事務。市域での開発事業が行われる限り継続される事務事業。
有効性	4	開発事業との調整で各種調査を実施することにより、埋蔵文化財の状況が確認でき、遺跡の実態解明や市内の成り立ちなどの把握に繋げることができる。
達成度	4	埋蔵文化財の取り扱い(調整)をクリアできないと開発事業が進展しないことから、支障のないよう可能な限り迅速な対応で実施した。
効率性	4	既に従事人員を削減していることからこれ以上削減すると事務事業の迅速な対応が困難になるので現状維持が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>開発事業者と埋蔵文化財の保護措置を迅速な調整を図るためにも、最低限現行どおりの事務体制が必要。</p>				

事業 159	事業名	埋蔵文化財管理費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	59 8093	
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費
	実施計画掲載	無	個別計画		目		埋蔵文化財調査費	
根拠法令・要綱等		出土品の取扱いについて(庁保記第182号 平成9年8月13日文化庁次長通知) 富山県出土品取り扱い基準(平成19年3月30日 県教委)						

事業目的	対象	誰を・何を	出土遺物及び調査資料				
	意図	どのような状態に	恒久保存と活用を図る				
事業内容	手段	どのような方法で	・発掘調査で記録した図面、写真及び出土した遺物、調査報告書(保存分)を確認できるよう整理し、埋蔵文化財収蔵庫(旧大江公民館)で保管。 ・遺物・資料の閲覧及び展示貸出への対応。				

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	発掘調査に伴う出土品は、文献資料とは異なる特質を備え、地域の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない情報を提供する貴重な歴史的遺産である。 これらの資料を将来にわたり適切に保存し、広く活用できるよう整えておく必要がある。このため収蔵施設においても収蔵環境の向上を図っていく必要がある。  埋蔵文化財管理費には収蔵庫と埋蔵文化財整理室(人件費等整理事業費を除く)の施設管理費を含む。
-----	-------	--

事業	159	事務事業名	埋蔵文化財管理費	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	----------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	出土遺物の保管数	箱	2,730	2,740	2,742	100.1	2,752
活動指標	保管遺物、資料の利用回数	回	4	4	4	100.0	5
	資料整理及び収納回数	回	3	3	3	100.0	3

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	764 千円	752 千円	1.6	3,881 千円
	正規職員人件費相当額	828 千円	816 千円	1.4	1,360 千円
	退職手当引当金相当額	120 千円	114 千円	5.0	190 千円
	事業コスト計	1,712 千円	1,682 千円	1.8	5,431 千円
	財源内訳	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	1,712 千円	1,682 千円	1.8	5,431 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.12 人	0.12 人	0.0	0.20 人
	臨時職員	人	人		人
利用者 1 人 当たりコスト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
必要性	4	158埋蔵文化財調査から発生する事業で発掘調査後の出土品や記録資料管理を担うため必要不可欠な事業。
有効性	3	地域の歴史的遺産の継承を掌り、必要に応じて歴史を物語る資料をいつでも活用できる状態で保管
達成度	3	平成23年度出土品12箱を収蔵し、合計2742箱の出土遺物の保管ができた。また、記録図面・写真及び報告書保存分も併せて収蔵できた。
効率性	4	現地調査及び遺物整理、報告書作成業務とのスケジュール調整を図りながら、最も効率のよい整理及び保管を実施。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
<p>今後も当該年度の出土遺物等の資料を適切に整理し、いつでも活用できる状態で保存を図る。また、復元遺物を整理箱から収蔵棚等への収納を検討し資料を利用しやすい環境に整えていく。</p>					

事業 160	事業名 事務事業名	芸術文化振興費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり				項	社会教育費	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造				目	文化振興費	
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱						

事業目的	対象 誰を・何を	・市内の音楽、舞踊等の芸術活動を行っている者又は団体に報奨金を交付する。 ・芸術品に見識のある方への報酬
	意図 どのような状態に	・全国又は国際コンクールにおいて優秀な成績を修めた者を賞する。 ・芸術品の購入又は寄付等に際し、評価額を鑑定してもらう。
事業内容	手段 どのような方法で	・(奨励褒賞金) 国際コンクール 優勝等 個人 30,000円 団体 50,000円 参賞等 個人 20,000円 団体 30,000円 等 射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱により交付  ・美術品の有識者に鑑定を依頼する。

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況	
設備・規模						

施設等整備事業	総事業費	財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	160	事務事業名	芸術文化振興費	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	---------	-----	----------

	指標名	単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	報奨金交付件数	件	1	2	1	50.0	2
	鑑定件数	件	2	2	0	0.0	2
活動指標	美術品購入件数	件	1	1	0	0.0	0

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	30 千円	10 千円	66.7	50 千円
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	5.0	19 千円
	事業コスト計	188 千円	165 千円	12.2	205 千円
	財源内訳	千円	千円		千円
財源内訳	その他	千円	千円		千円
	一般財源	188 千円	165 千円	12.2	205 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	臨時職員	人	人		人
利用者1人当たりコスト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
必要性	4	・レベル向上には全国・国際大会での活躍が必要であり、その励みとなっている。 ・美術品の購入又は寄付を受ける際には有識者に鑑定してもらう必要がある。
有効性	3	・芸術、文化向上に有効である。 ・美術品の価値を判断する必要がある。
達成度	2	・芸術、文化の大会には地方予選のないものが多く、実態把握が難しい。 ・有識者の鑑定により価値を判断している。
効率性	3	・激励金交付件数及び実績金額に比較すると効果はあると思われる。 ・美術品鑑定については、その価値を計る方法として他にない。

評価結果 (1次)	<b>B</b> 事業の進め方の改善が必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		評価委員会のコメント	
・芸術部門の全国大会に優勝等をされる方は大変高いレベルにあり、件数として多くない。(日展作家等) ・鑑定報償費は美術品の購入及び寄付があった場合に必要とされる。			

事業 161	事業名 事務名	芸術文化協会補助金・芸術祭会場使用料補助金 (芸術文化振興費)				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	予算科目	電話	59 8093
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり				款	教育費	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造				項	社会教育費	
	実施計画掲載	無		個別計画		目	文化振興費	
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	射水市芸術文化協会					
	意図	交付目的	射水市の芸術・文化の振興育成を図る。					
事業内容	手段	補助金等の受け実施する主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会及び協会の運営に関すること</li> <li>・芸能フェスティバル及び芸術文化作品展の開催</li> <li>・5支部の運営及び美術、華道、茶道、等の部門別、グループ別発表会、展示会の開催</li> <li>・新人及び若手の育成</li> </ul>					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年額6300千円(23年度)</li> <li>・会場使用料の1/2</li> </ul>				
	その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
設備・規模						

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	161	事務事業名	芸術文化協会補助金・芸術祭会場使用料補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-----------------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 (協会会員数)	人	3,405	3,400	3,287	96.7	3,200
	芸能フェスティバル入場者数		891	2,000	2,031	101.6	1,000

事業費・人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)		7,308 千円	6,610 千円	9.6
(補助金等交付件数)		( 3 件)	( 2 件)	33.3	( 1 件)	
正規職員人件費相当額			276 千円	272 千円	1.4	272 千円
退職手当引当金相当額			40 千円	38 千円	5.0	38 千円
事業コスト計			7,624 千円	6,920 千円	9.2	6,810 千円
財源内訳		国 県 支 出 金		千円	千円	
	そ の 他		千円	千円		千円
	一 般 財 源		7,624 千円	6,920 千円	9.2	6,810 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト		2.24 千円	2.11 千円	6.0	
	うち一般財源ベース分		2.24 千円	2.11 千円	6.0	

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	芸術文化協会は3287名の芸術文化を愛する会員で構成されており、その活動は芸術文化行政の中心的役割を担っている。
有効性	4	芸術文化協会のレベルの高さが射水市の文化レベルとなっている。協会員の作品発表が一般の方々が芸術に触れる機会となっている。
効率性	4	組織が大きく、部門(芸能、美術、茶道、華道等)も多種に渡るが、個々のグループ活動は活発である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>これまで旧市町村の支部単位での活動が中心であったが、全市一体となった芸能、美術、茶道、華道等の部門別を中心とした組織改編を進める。</p>				

事業 162	事業 業務名	いみず野美術展等開催補助金 (芸術文化振興費)				担当 部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業 期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	59 8093	
総合 計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち				予算 科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費
	実施計画掲載	無		個別計画			目	文化振興費
根拠法令・要綱等								

事業 目的	対象	交付先	いみず野美術展実行委員会、射水市展運営委員会					
	意図	交付目的	いみず野美術展、射水市展を開催し芸術文化の振興を図る。					
事業 内容	手段	補助金等の 受け 実施する 主な活動	・前年度に全国及び全県規模の公募展で優秀な成績を修められた作品をいみず野美術展として地元でも展示し射水市の美術レベルの向上を図る。 ・射水市展は市内の作家から作品を一般公募し、表彰することにより新人の発掘とレベルの向上を図る。					

補助 金 事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他( )			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				
		定額補助					
定率補助		定額補助1,700,000円(23年度)					
	その他						

施設 管理 運営 事業	施設名	管理形態					
		指定管理者名					
	構造・階数	指定管理期間					
	建築年度	改修年度	類似施設状況				
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況				
	設備・規模						

施設 等 整備 事業	総事業費	財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業	162	事務事業名	いみず野美術展等開催補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	---------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	いみず野美術展入場者数	人	456	500	541	108.2	550
	射水市展入場者数	人	1,557	1,500	1,196	79.7	1,200

事業費・人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)		2,000 千円	1,700 千円	15.0
(補助金等交付件数)		( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)	
正規職員人件費相当額			690 千円	884 千円	28.1	680 千円
退職手当引当金相当額			100 千円	124 千円	23.5	95 千円
事業コスト計			2,790 千円	2,708 千円	3.0	2,475 千円
財源内訳		国 県 支 出 金		千円	千円	
	そ の 他		千円	千円		千円
	一 般 財 源		2,790 千円	2,708 千円	3.0	2,475 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.10 人	0.13 人	30.0	0.10 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	・いみず野美術展は合併前から続く美術展で、本市の美術レベル向上に貢献している。 ・市展は県内全ての市で実施されており、いずれも市が中心となって実施されている。
有効性	4	・いみず野美術展は作家同士に刺激を与え、レベルの向上に貢献している。 ・市内の美術家達は県展と並んで市展に出品することを目標に作品作りをしている。
効率性	4	・両美術展の合同開催を検討したが、開催場所や開催時期等の問題があり、難しい。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
・いみず野美術展は出展基準を上げて、少ない出品ながらレベルの高い美術展に、市展は多くの作家が出展する一般公募展を目指す。				

事業 163	事業名 共催後援に伴う会場利用料補助金 (芸術文化振興費)	担当部署	部名 教育委員会
		課名 文化・スポーツ課	電話 59-8093
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造	
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象	交付先	文化施設の指定管理者
	意図	交付目的	文化施設の設置条例中の減免措置について指定管理者の収益性を確保するもの。
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	・文化施設の使用料減免に該当する場合、指定管理者の収入減となる部分を補填することにより指定管理者の経営を守る。

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助	・使用料減免10割～1割分			
定率補助						
その他						

施設管理運営事業	施設名	管理形態	
		指定管理者名	
	構造・階数	指定管理期間	
	建築年度	改修年度	類似施設状況
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況
	設備・規模		

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	163	事務事業名	共催後援に伴う会場利用料補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-----------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	補填件数	件	163	5	2	40.0	5

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	225 千円	43 千円	80.9	100 千円
	(補助金等交付件数)	( 6 件)	( 2 件)	66.7	( 5 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	5.0	29 千円
	事業コスト計	462 千円	276 千円	40.4	333 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	462 千円	276 千円	40.4	333 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	・使用料減免に該当した場合、指定管理者の負担となるので、指定管理者の経営を圧迫しないよう補填する必要がある。
有効性	3	・事業の目的達成にあたって有効と考えられる。 ・使用料の減免をする場合、補填者である市と協議することを前提としている。
効率性	2	・結果として補助が重複する場合もあるので、協議の上重複しないようにしている。

評価結果 (1次)	<b>B</b> 補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		評価委員会のコメント	
<p>基本的に市等の主催であっても、減免せずに負担すべきは負担してもらっている。又、文化団体であっても、補助の一本化することにより、補助の重複しない様にする。</p>			

事業 164	事業名 ジュニアアート展補助金 (芸術文化振興費)	担当部署			部名	教育委員会	
					課名	文化・スポーツ課	
事業期間		開始年度	平成 22 年度	終了年度	-	電話	59 8093
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり				款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造				項	社会教育費
	実施計画掲載	無		個別計画		目	文化振興費
根拠法令・要綱等							

事業目的	対象	交付先	射水市美術協会				
	意図	交付目的	射水市在住の中学生、高校生の美術作品を発表し、地元作家と交流することにより若い世代の創作意欲を高めて、地域芸術活動の推進を図る。				
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	・射水市内の中学、高校生を対象としたジュニアアート展を開催し、学生の創作活動を支援する。 ・出展者と地元作家の意見交換会を行い、レベルの向上を図る。				

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		年額200,000円				
	その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
	設備・規模					

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	164	事務事業名	ジュニアアート展補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	ジュニアアート展出品者数	人	123	125	128	102.4	130
	ジュニアアート展見学者数	人	589	600	600	100.0	630

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	200 千円	200 千円	0.0	200 千円
	(補助金等交付件数)	( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)
	正規職員人件費相当額	207 千円	204 千円	1.4	204 千円
	退職手当引当金相当額	30 千円	29 千円	5.0	29 千円
	事業コスト計	437 千円	433 千円	1.0	433 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	437 千円	433 千円	1.0	433 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	・芸術文化の振興には若い世代の育成が不可欠であり、市内の中高生の交流の場となる作品展は必要と考えられる。
有効性	3	・展示会の会場において美術協会の作家と意見交換を実施しており、育成に効果的である。
効率性	3	・更にレベルアップを図るには多くの参加者が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
事業のレベルアップのために展示会の拡大が必要であり、 広くPRしていくとともにワークショップ等の取り組み等、指導 方法に工夫をしていく。				

事業 165	事業名 事務事業名	芸術文化団体派遣等補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(芸術文化振興費)					課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	-	電話	59 8093	
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費
	実施計画掲載	無	個別計画		目		文化振興費	
根拠法令・要綱等		射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	市内で音楽、舞踊等の芸術文化活動を行っている個人又は団体					
	意図	交付目的	市の芸術文化の振興及び市民の芸術文化の資質向上のため芸術文化大会に出場し、参加する者を補助する。					
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	・芸術文化の国際大会、国際発表会及び全国規模の大会発表会に出場し、又は発表する者を補助する。					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他( )			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				
		定額補助	国際大会、国際発表会・・・国外で開催・・・個人 30,000円、団体 300,000円 等 射水市芸術文化団体派遣等補助金交付要綱による。				
定率補助							
その他							

施設管理運営事業	施設名	管理形態		
		指定管理者名		
	構造・階数	指定管理期間		
	建築年度	改修年度	類似施設状況	
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況	
設備・規模				

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	165	事務事業名	芸術文化団体派遣等補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	--------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 (派遣件数)	人	2	1	0	0.0	1

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	330 千円	0 千円	皆減	100 千円
	(補助金等交付件数)	( 2 件)	( 0 件)	皆減	( 2 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	0 千円	皆減	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	0 千円	皆減	19 千円
	事業コスト計	488 千円	0 千円	皆減	255 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	488 千円	0 千円	皆減	255 千円
当該事務従事職員数	正規職員	0.02 人	0.00 人	皆減	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	244.00 千円	-	皆減	
	うち一般財源ベース分	244.00 千円	-	皆減	

評価項目	点数	説 明
妥当性	-	未執行 (交付なし)
有効性	-	未執行 (交付なし)
効率性	-	未執行 (交付なし)

評価結果 (1次)	-	未執行のため評価不能	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
美術等の場合、流派等で全国コンクールをしている事が多く、その場合は補助の対象としていないため件数が少なくなっている。今後、実情に合わせた制度となるよう検討する。				

事業 166	事業名 写真作家協会助成金 (芸術文化振興費)	担当部署	部名 教育委員会
		課名 文化・スポーツ課	電話 59 8093
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造	
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象	交付先 射水市写真協会
	意図	交付目的 写真協会の活動と協会の技術力向上により、市写真文化の普及・向上を図る。
事業内容	手段 補助金等の交付を受ける実施する主な活動	・射水市写真協会展を開催(出品資格者は高校生以上の市内在住者・勤務者) ・講演会、撮影会等の会員を対象とした研修会を開催

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		年額81,000円				
	その他					

施設管理運営事業	施設名	管理形態	
		指定管理者名	
	構造・階数	指定管理期間	
	建築年度	改修年度	類似施設状況
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況
	設備・規模		

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	平成15年度(2003年度)に「射水写真作家協会」として結成。
-----	-------	---------------------------------

事業	166	事務事業名	写真作家協会助成金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-----------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	写真協会展出品者数	人	44	50	51	102.0	50
	写真協会会員数	人	61	61	61	100.0	61

事業費・人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)		81 千円	81 千円	0.0
(補助金等交付件数)		( 1 件)	( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)
正規職員人件費相当額			138 千円	136 千円	1.4	136 千円
退職手当引当金相当額			20 千円	19 千円	5.0	19 千円
事業コスト計			239 千円	236 千円	1.3	236 千円
財源内訳		国 県 支 出 金		0 千円	0 千円	-
	そ の 他		0 千円	0 千円	-	0 千円
	一 般 財 源		239 千円	236 千円	1.3	236 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	市内全域に会員を抱え、写真文化の普及に貢献している。
有効性	3	市内全体での組織的な活動を奨励してきた結果、技術力向上に一定の成果があった。
効率性	2	協会の事業は最小限の経費で実施されている。

評価結果 (1次)	<b>B</b> 補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)		評価委員会のコメント	
<p>結成以来10年の活動により、一定の成果があったものと考えられる。                  更なる普及のため事業の継続が必要であるが、少額補助であることから、そのあり方については、今後検討する。</p>			

事業 167	事業名 めでた保存会補助金 (芸術文化振興費)	担当部署	部名 教育委員会
		課名 文化・スポーツ課	電話 59 8093
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造	
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象	交付先 新湊めでた保存会
	意図	交付目的 新湊地区伝わる伝統古謡「新湊めでた」を継承し、普及振興を図る。
事業内容	手段 補助金等の交付を受けて実施する主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内を中心とする各種行事に参加して「新湊めでた」の継承、普及活動を行う。</li> <li>会員の技術向上のほか、「新湊めでた」の調査研究を行い、伝統を受け継ぐ。</li> </ul>

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		年額25,000円				
	その他					

施設管理運営事業	施設名	管理形態	
		指定管理者名	
	構造・階数	指定管理期間	
	建築年度	改修年度	類似施設状況
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況
	設備・規模		

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	「新湊めでた」は、2004年(平成16年12月24日)に市指定無形民俗文化財に指定されており、めでた保存会は、その保存団体にあたる。
-----	-------	--

事業	167	事務事業名	めでた保存会補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-----------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	保存会会員数	人	88	85	85	100.0	85

事業費・人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)		25 千円	25 千円	0.0
(補助金等交付件数)		( 1 件)	( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)
正規職員人件費相当額			138 千円	136 千円	1.4	136 千円
退職手当引当金相当額			20 千円	19 千円	5.0	19 千円
事業コスト計			183 千円	180 千円	1.6	180 千円
財源内訳		国 県 支 出 金		0 千円	0 千円	-
	そ の 他		0 千円	0 千円	-	0 千円
	一 般 財 源		183 千円	180 千円	1.6	180 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	市指定文化財でもある古謡の継承のため活動している団体である。
有効性	3	多くの市民に「新湊めでた」を披露することで、古謡の技術的継承及び会員以外への啓発効果も認められる。会員の高齢化が進んでいる。
効率性	2	少額補助金であるが、継承に対する支援の意義は大きい。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>市指定文化財でもある古謡の継承のため、引き続き支援が必要であり、これまで同様に補助する。 また、担い手の育成について課題があり、今後、指導していく。</p>				

事業 168	事業名 越中大島太鼓振興会活動補助金 (芸術文化振興費)	担当部署	部名 教育委員会
		課名 文化・スポーツ課	電話 59 8093
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造	
	実施計画掲載	無	個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象	交付先 越中大島太鼓振興会
	意図	交付目的 我が国の伝統芸能である太鼓を継承するとともに、演奏活動によって市のPRに貢献する越中大島太鼓振興会を育成する。
事業内容	手段 補助金等の交付を受けて実施する主な活動	定期的に週2回の練習を行い、市内外の太鼓の競演会に参加する。また、随時に各種行事での依頼を受けて公演活動を行う。

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		年額324,000円				
	その他					

施設管理運営事業	施設名	管理形態	
		指定管理者名	
	構造・階数	指定管理期間	
	建築年度	改修年度	類似施設状況
	耐震の有無	延床面積	民間施設状況
	設備・規模		

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	越中大島太鼓振興会は旧大島町の開町100年に際し、町の飛躍を祈念して平成元年に結成された。
-----	-------	---

事業	168	事務事業名	越中大島太鼓振興会活動補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	----------------	-----	----------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ( )	人					
	参加競演会・行事(公演)数	回	11	11	17	154.5	11

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	324 千円	324 千円	0.0	300 千円
	(補助金等交付件数)	( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	5.0	19 千円
	事業コスト計	482 千円	479 千円	0.6	455 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	-
	そ の 他	0 千円	0 千円	-	0 千円
	一 般 財 源	482 千円	479 千円	0.6	455 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	市で唯一の公演活動を事業とする和太鼓演奏団体である。
有効性	3	積極的に市内外で公演しており、市のPRに貢献している。
効率性	3	年ごとの公演回数によって出演料収入と関連支出に大きな増減があり、適切な措置が必要である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
市を代表する和太鼓演奏団体であり、引き続きの育成と継続支援が必要である。					

事業 169	事業名 事務名	絵本ワールド2011開催補助金 (芸術文化振興費)				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	-	予算科目	電話	59 8093
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					款	教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					項	社会教育費
実施計画掲載		無		個別計画		目	文化振興費	
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	とやま元気ワールド実行委員会					
	意図	交付目的	絵本を通して幼児の情操教育を促し、豊かな感受性を育てるため、絵本に触れる機会を創造する。					
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会</li> <li>・絵本トーク</li> <li>・絵本展示・販売</li> <li>・絵本読み聞かせ</li> <li>・絵本ワークショップ</li> <li>・コンサート</li> <li>・人形劇</li> </ul>					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		年額650,000円				
	その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
	設備・規模					

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業	169	事務事業名	絵本ワールド2011開催補助金	担当課	文化・スポーツ課
----	-----	-------	-----------------	-----	----------

指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
			目標・見込	実績	達成率	
利用者数 設定できる場合 (大島絵本館入館者数(開催期間中))	人	876	1,000	746	74.6	1,000

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	810 千円	650 千円	19.8	700 千円
	(補助金等交付件数)	( 1 件)	( 1 件)	0.0	( 1 件)
	正規職員人件費相当額	138 千円	136 千円	1.4	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	19 千円	5.0	19 千円
	事業コスト計	968 千円	805 千円	16.8	855 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	0 千円	0 千円	-
	そ の 他	0 千円	0 千円	-	0 千円
	一 般 財 源	968 千円	805 千円	16.8	855 千円
当該事務従事職員数	正規職員	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
利用者1人当たりコスト		1.11 千円	1.08 千円	2.3	
	うち一般財源ベース分	1.11 千円	1.08 千円	2.3	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	富山市・高岡市・射水市を中心に多くの県民が参加するイベントである。 富山県・富山市・高岡市・射水市の補助のほか、多くの企業が協賛しており全県的な取り組みである。
有効性	2	県内3会場のうち、大島絵本館が会場の一つとなっている。ただし、絵本館開催事業については、過去に絵本館単独で実施した事業が多く、必ずしも効果が大いとはいえない。
効率性	3	市外で行うイベントに重点がおかれており、市民への還元が限定的である。

評価結果 (1次)	C 補助基準の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		評価委員会のコメント	
<p>本事業と絵本館単独で行う事業に重複が多い。 事業の差別化を図る等の改善を指導するほか、事業内容に応じた補助金となるよう検討する。</p>			